

～意思決定や製品価値最大化への活用ポイントとは？～

1名分料金で
2人目無料ターゲットプロダクトプロファイルの策定とビジネス評価 【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

◆日 時：2026年4月7日（火） 12:30～16:30

【アーカイブ配信：4/8～4/17（何度でも受講可能）】

◆会 場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。

◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**46,200円**・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料（2名で49,500円）**

・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2604106>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講 師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

中外製薬(株)ビジネスインサイト&ストラテジー部 ビジネスアナリシスプロフェッショナル 高山 健次 氏

ご専門：有機合成、市場調査、売上予測、事業性評価

ご経歴：中外製薬での活動：

- ・1989年入社後、農薬事業部に除草剤、昆虫生育抑制剤等のドラッグデザイン、有機合成に5年間従事
- ・医薬事業部に代謝研究、分析業務に3年間、市販後医薬品の育薬研究に3年間従事
- ・中外製薬と日本ロシュの経営統合(2002年)より、医薬事業の企画部門へ配属。以降、様々な組織名称となるが、一貫して自社品、ロシュ社や他社との導入品・導出品の市場調査、売上予測、事業性評価、ライセンスや経済条件等の検討を多数経験。

業界での関連活動：

- ・ファルマミーティング（日本における製薬企業の市場調査部門担当者の団体：43社加盟）代表（2014年）
- ・日本発創薬の価値最大化研究会（JVO）理事（2018年～2023年）
- ・BAミーティング（日本における製薬企業の事業性評価担当者の団体：36社加盟）発起人代表（2023年～）

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

医薬品開発には、長期的かつ多額な費用と人的資源を要する一方で、成功確率が低い。投資の意思決定は慎重にならざるを得ない。経営としては見込みの薄い開発品への投資は避けたいが、各部門・部署・製品チームは各々の虎の子を守るべく、社内コンフリクトが発生する可能性もある。一方、選り好みをするほど開発品が多くないのも現実であり、失敗するまで投資を続けるといった悲劇も起きかねない。本講座では、開発品の価値評価や優先度設定の判断基準として用いられる事業性評価を取り上げ、その基になるターゲットプロダクトプロファイル（TPP）をどのように作成し、事業性評価を通じて意思決定や製品価値最大化に活用するのか、ポイントを整理し事例も交えて解説する。

1. 中外製薬(株)とは？

- ・会社概、ミッションステートメント
- ・自主独立経営を行うビジネスモデル、ロシュとの戦略的提携

2. 製品ポテンシャルを可視化する売上予測とその概念

- ・売上予測の4つの目的とタイミング、典型的な予測モデル
- ・売上予測の研究開発ステージと粒度
- ・ビジネスの価値評価として売上予測は万能か
- ・意思決定を惑わす様々な認知バイアス
- ・戦略的マネジメントとオペレーションマネジメントの関係

3. 意思決定を支援する事業性評価とその概念

- ・事業性評価のゴール、4つの目的とタイミング
- ・事業性評価を理解する上での重要な指標
- ・事業リスクと4つの事業性評価の実施方法
- ・正味現在価値（NPV）と不確実性を考慮した正味現在価値（eNPV）
- ・意思決定の質を高めるために重要な6つの要素

4. 意思決定に向けたTPPの設定

- ・TPP作成の意義と作成のポイント
- ・TPP作成タイミングと作成部署
- ・TPPを達成した製品で将来のUMNは変わり得る

- ・TPP作成のための市場からのインサイト抽出方法
- ・TPPに重要な3つのポイント
- ・事例から見えてくるTPPの重要性
- ・複数のTPPをどう事業性評価に織り込むのか

5. 製品チームや経営から

信頼の得られる事業性評価を目指して

- ・中外製薬のLCM体制
- ・中外製薬での事業性評価実施の流れと、確認ポイント
- ・事業性評価がネガティブとなった場合の対処方法
- ・事業性評価の役割と目指すところ
- ・市場調査と事業性評価の関係

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

- 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら (https://zoom.us/download#client_4meeting) からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
- 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら (<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>) をご覧ください。
- 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催前日までににお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『TPP』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< ☐LIVE ☐アーカイブ >

会社・大学			
住 所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐ 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日（土日祝日を除く）で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>